



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 リケンテクノス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4220 URL http://www.rikentechonos.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 常盤 和明  
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 高見 亮一 (TEL) 03-5297-1650  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	22,831	7.3	1,331	0.2	1,357	16.7	610	60.1
29年3月期第1四半期	21,274	△4.3	1,329	55.8	1,163	30.1	381	5.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 891百万円( —%) 29年3月期第1四半期 △385百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	10.52	9.17
29年3月期第1四半期	6.36	5.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	88,723	49,260	47.7
29年3月期	88,345	49,196	47.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 42,333百万円 29年3月期 41,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	6.6	2,600	△10.7	2,600	△2.9	1,200	6.8	20.68
通期	96,000	8.7	6,500	10.9	6,500	11.4	3,000	10.4	51.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	66,113,819株	29年3月期	66,113,819株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	8,072,283株	29年3月期	8,079,834株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	58,035,849株	29年3月期1Q	59,968,365株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当期四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用所得情勢を受けて、個人消費は緩やかな回復傾向が続いています。

海外では、米国経済は個人消費および民間需要の下支えによる景気回復が続いております。欧州経済は緩やかに回復しており、政策に関する不確実性も和らぎつつあります。中国では、このところ景気の回復に一服感がみられます。

産業別には、国内の自動車業界は、各社の新型車発売の効果もあり、堅調に推移しています。建材業界における住宅着工件数は横ばいの状況で、家電業界においては白物家電を中心に販売の回復が続いています。

このような環境の中、当社グループはグローバルな視点で顧客ニーズを確実に捉え、受注につなげることで業績の向上に努めました。海外需要を確実に獲得する取り組みとして新設し稼働を開始したベトナム国のコンパウンド製造工場、増設し稼働を開始した中国および北米のコンパウンド製造工場、また既存拠点の更なる活用により拡販活動を行いました。

その結果、売上高は22,831百万円(前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)7.3%増)、営業利益は1,331百万円(前年同期比0.2%増)、経常利益は1,357百万円(前年同期比16.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は610百万円(前年同期比60.1%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [コンパウンド]

国内のコンパウンド事業のうち、塩ビコンパウンドは、建材市場、電線市場では本格的な受注の回復にいたらなかったものの、自動車市場で堅調に推移し、増収となりました。エラストマーコンパウンドは、主力の自動車市場で売上が伸長し、医療市場、食品市場でも堅調に推移し、増収となりました。

海外では、中国現地法人において自動車市場で回復の兆しが見られ、タイ国現地法人では自動車市場、医療市場で、インドネシア国現地法人では電線市場、医療市場で堅調に推移しました。また、米国でも自動車市場、電線市場で好調に推移し、海外全体として増収となりました。

利益につきましては原材料価格の上昇による影響もあり、減益となりました。

その結果、売上高は16,007百万円(前年同期比7.9%増)、セグメント利益は1,164百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

#### [フィルム]

国内のフィルム事業のうち、建装材市場の住宅分野では、新築住宅着工件数が横ばいの中、賃貸向けは好調を維持しましたが、戸建て、リフォーム関連需要は低調で、売上は微増にとどまりました。住宅以外の分野では首都圏を中心とした公共施設、オフィスビル、ホテル等の新築、リニューアル需要により好調に推移しました。広告メディア市場では横ばいの売上となりました。

輸出は、建装材市場では、北米向けは堅調で、中国向けは新規案件の採用により売上は増加しましたが、欧州向けは回復の兆しが見えず、減収となりました。電線市場では、車両用の輸出は堅調に推移し、民生用も中国市場向けが回復し、増収となりました。自動車市場の内装分野においては、海外での新規採用がありました。

光学分野では、海外の大手顧客への販売開始により売上が増加しました。またその他顧客への採用も国内外において決定しており、売上拡大に向けて進んでおります。

利益につきましては、生産合理化施策の効果と売上の増加もあり、改善しました。

その結果、売上高は3,385百万円(前年同期比13.2%増)、セグメント利益は11百万円(前年同期は57百万円の損失)となりました。

[食品包材]

国内の食品包材事業のうち、主要製品である業務用塩ビラップは、消費者マインドは改善傾向にありましたが、スーパー等の小売業が低調に推移し、減収となりました。

利益につきましては、一部生産設備の修繕費用を計上したことにより、減益となりました。

中国現地法人は、原材料価格上昇による影響もあり、減益となりました。

その結果、売上高は2,521百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は196百万円(前年同期比0.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は88,723百万円(前連結会計年度末比377百万円増加)となりました。これは主に棚卸資産の増加や投資有価証券の時価が上昇したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は39,463百万円(前連結会計年度末比313百万円増加)となりました。これは主に仕入債務が増加したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は49,260百万円(前連結会計年度末比64百万円増加)となりました。これは為替換算調整勘定が減少する一方、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月8日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,508,274	14,671,733
受取手形及び売掛金	23,762,379	23,115,876
商品及び製品	5,731,533	6,308,641
仕掛品	558,400	657,768
原材料及び貯蔵品	4,823,450	5,113,837
繰延税金資産	429,567	397,804
その他	1,133,890	1,382,858
貸倒引当金	△129,560	△126,875
流動資産合計	50,817,935	51,521,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,737,777	9,445,494
機械装置及び運搬具（純額）	9,222,775	8,877,745
土地	6,427,165	6,410,346
リース資産（純額）	22,460	27,691
建設仮勘定	932,233	1,008,422
その他（純額）	618,154	652,257
有形固定資産合計	26,960,565	26,421,958
無形固定資産		
のれん	483,537	435,642
リース資産	3,745	3,329
その他	2,656,002	2,505,704
無形固定資産合計	3,143,285	2,944,676
投資その他の資産		
投資有価証券	6,035,880	6,584,376
長期貸付金	54,916	52,453
退職給付に係る資産	502,834	507,409
繰延税金資産	230,356	219,032
その他	603,906	476,053
貸倒引当金	△3,770	△3,770
投資その他の資産合計	7,424,123	7,835,554
固定資産合計	37,527,975	37,202,190
資産合計	88,345,910	88,723,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,913,755	17,278,630
短期借入金	6,544,873	6,336,827
1年内返済予定の長期借入金	315,635	330,883
リース債務	10,231	10,987
未払法人税等	575,041	448,059
賞与引当金	625,177	291,531
役員賞与引当金	63,100	22,460
その他	2,529,349	3,052,326
流動負債合計	27,577,165	27,771,705
固定負債		
社債	4,000,000	4,000,000
長期借入金	4,866,068	4,795,146
リース債務	21,468	24,254
繰延税金負債	1,159,930	1,326,773
役員株式給付引当金	17,410	55,823
退職給付に係る負債	1,069,617	1,036,991
資産除去債務	310,128	311,248
その他	127,782	141,373
固定負債合計	11,572,407	11,691,610
負債合計	39,149,572	39,463,316
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,514,018	8,514,018
資本剰余金	6,670,465	6,712,663
利益剰余金	27,137,248	27,399,309
自己株式	△3,108,532	△3,146,575
株主資本合計	39,213,200	39,479,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,785,333	3,167,704
為替換算調整勘定	502,996	191,056
退職給付に係る調整累計額	△527,469	△504,806
その他の包括利益累計額合計	2,760,859	2,853,954
非支配株主持分	7,222,277	6,927,147
純資産合計	49,196,337	49,260,518
負債純資産合計	88,345,910	88,723,834

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	21,274,978	22,831,088
売上原価	17,034,755	18,545,311
売上総利益	4,240,222	4,285,777
販売費及び一般管理費	2,910,941	2,953,967
営業利益	1,329,281	1,331,809
営業外収益		
受取利息	7,761	5,785
受取配当金	53,526	63,632
その他	12,555	27,609
営業外収益合計	73,843	97,028
営業外費用		
支払利息	24,808	46,839
為替差損	206,181	13,314
その他	8,440	11,121
営業外費用合計	239,430	71,275
経常利益	1,163,694	1,357,562
特別利益		
固定資産売却益	—	1,014
特別利益合計	—	1,014
特別損失		
固定資産売却損	—	417
固定資産除却損	1,402	21,653
特別損失合計	1,402	22,071
税金等調整前四半期純利益	1,162,292	1,336,505
法人税等	422,765	388,429
四半期純利益	739,526	948,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	358,308	337,747
親会社株主に帰属する四半期純利益	381,218	610,328



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	739,526	948,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△178,561	383,470
為替換算調整勘定	△967,427	△462,400
退職給付に係る調整額	20,596	22,808
その他の包括利益合計	△1,125,392	△56,122
四半期包括利益	△385,865	891,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△399,757	703,423
非支配株主に係る四半期包括利益	13,892	188,530

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンパ ウンド	フィルム	食品包材	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	14,829,891	2,991,026	2,552,683	20,373,601	901,376	21,274,978	—	21,274,978
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	57,812	—	—	57,812	226,968	284,781	△284,781	—
計	14,887,704	2,991,026	2,552,683	20,431,414	1,128,344	21,559,759	△284,781	21,274,978
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,195,083	△57,678	196,811	1,334,216	23,681	1,357,898	△28,616	1,329,281

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂成型品及び電線の製造・販売、また商品の仕入・販売であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△28,616千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンパ ウンド	フィルム	食品包材	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	16,007,598	3,385,054	2,521,690	21,914,344	916,744	22,831,088	—	22,831,088
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	54,038	14,089	—	68,127	87,816	155,944	△155,944	—
計	16,061,637	3,399,143	2,521,690	21,982,472	1,004,560	22,987,032	△155,944	22,831,088
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,164,123	11,986	196,790	1,372,900	2,462	1,375,362	△43,552	1,331,809

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂成型品及び電線の製造・販売、また商品の仕入・販売であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△43,552千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。